

初の議場開催
多彩な意見が集結報告会の様子は
こちらから

平成24年から開催している議会報告会も今年で14回目となりました。今年初の試みとして、より議会を身近に感じてもらうため、議場で開催しました。またテーマを設定し、各種団体へ参加を呼びかけました。約50人の方々が参加され、質疑応答や意見交換会においても多くの意見が交わされるなど、有意義な報告会となりました。

当日の質疑や意見等をご紹介します。

参加者



参加者 町民体育館計画を廃案にする考えはないか。高齢化も進んでいる。必要なのかという疑問がある。50数億円もかけるのであれば、もっと子どもに、町民に使ってほしいと考える。

議会 行政は事業開始の同意を地権者からもらっている。令和7年度当初予算にアドバイザリー業務委託契約を予算計上していないのは、土地の契約金額が折り合わず購入できていない。今後の見通しについては議会として注視していく。

商品券

参加者 配布予定の商品券は何故2千円なのか。どう配布するのか。金額の根拠は何か。

議会 国の物価高騰対策予算で配布するもの。商品券配布はこれまで何度か実施してきた。イオンやサンエーなどでハガキを商品券に引き換える。



参加者 こども誰でも通園制度はいいが、学童クラブではおやつがあまりに少ない。町から学童への補助金はないのか。

議会 学童に対する補助金については、様々な補助のメニューを学童に支払っているが、色々な求めは町民の皆さまから寄せられている。行政も補助金について随時検討していると確認している。

参加者 商品券に関連するが、物価や税金が高く、給料が少ない。税金の軽減はできないか。賃金を上げていただきたい。

議会 国からの予算で物価高騰対策の商品券も2千円と上限を決めている。給食費の軽減にも充てられている。全町民にいく形になっていると理解している。ご意見は議員個々が活動の中で提案できたらと考える。

議長

議員



議会 この制度は、保護者の就労などの要件に縛られず、月10時間ではあるが、これまで利用できなかった人達が短時間でも利用できるようにするもので議会としても承認している。那覇市や浦添市でも実施しており、施設や保育士達の理解協力も得ながら活用して欲しい。先進地をみて、現場の声も聞きながら反映させていく。

参加者 誰でも通園制度が始まるが、人手が少ない中で通園慣れないこども達が来て、保育現場がどうなるか不安がある。通園制度ではなく、どの子も保育園に入るようにした方が良かった。通園制度をどのようなものとして議会が捉えて、可決されたのか教えてほしい。

同じ境遇の方々と交流の場を

子どもに障害があります。今は、学校や放課後デイ等にお世話になっています。

休日に公園で気兼ねなく遊べるような、施設の充実や周囲の理解はまだ少ないように感じます。

同じ境遇の方々と心配事の話ができる場や、集まりやすい環境が南風原にあればいいと感じます。

町民
インタビューTさん
(女性)